

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 13 回 定例委員会
日時	平成23年8月29日 自 15時 至 16時30分
場所	苫小牧市役所第2庁舎2階会議室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 鈴木 正樹 委員 佐藤 守 委員 山田 眞久
欠席委員	
会議録署名委員	山田 眞久 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 田中 亮太
事務局職員	学校教育部長 斉藤 章 吾 学校教育部次長 田中 章 嗣 スポーツ生涯学習部長 松 浦 務 総務企画課長 戸村 真 規 学校教育課長 遠藤 久 雄 指導室長 岩井 真 二 総務企画課総務係長 三橋 大 輔 学校教育課学務係長 高坂 博 幸 総務企画課総務係主事 田中 亮 太 学校教育課学務係主事 清水 克 彦
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（上原委員長） … 15時00分
2	会議録署名委員の指名（山田教育長）
3	教育長の報告
	<p>前回の定例教育委員会以降の動向について報告する。</p> <p>8月17日から小中学校の2学期が始まった。昨年よりは幾分しのぎやすい苦小牧の暑さだったと思うが全国的には猛暑が続き、また、相変わらず余震があり、集中豪雨などにも見舞われ、異常気象・気候を感じる夏だった。子どもに係る事故も発生し、道内では、石狩の海岸で中学2年生が行方不明になり、江別の中学生が熱中症の疑いで病院に運ばれるということがあった。富良野では居眠り運転のトラックに追突され、祖父と小学生の孫の2人が亡くなるという事故もあった。また、飛び箱で腹部を打った網走の高校生が、後日夏休み中に亡くなるという事故も起きている。本市においても、小学生の火遊びによるボヤ、あるいは、自転車と車との接触で足の指を骨折した小学生の事故の報告も受けている。夏休み中の子どもたちは、ラジオ体操や家族の旅行、港祭りや町内会のお祭りなどで楽しい思い出を残すことができたのではないかと思う。特に中学生の秦皇島国際交流派遣事業、あるいは、広島平和記念祭に3名の中学生が派遣された。また、文化・スポーツ面ではPMFコンサート、文化公園を使ったアートフェスティバル、6回目となった全国高等学校選抜アイスホッケー大会、その他、先生方には、例えば中学校の教科書採択に係る調査研究委員会、教員の研修講座、学力向上を目指す各学校の補習の授業、さらに、市内で5校の中学生と埼玉県入間市の中学生との交流事業があった。また、道内の女性校長・教頭による全道規模の研究大会、胆振管内教頭会の研究大会が本市で開催された。先週は北海道都市教育委員協議会主催の研究会が函館で開催され、</p>

教育委員全員で参加してきた。さらに、先週は第24小学校の開校に向けての地域
住民説明会を2回実施している。
(上原委員長) 教育長報告に関連して御質問があればお受けしたい。
(一同「なし」の声)
4 議 案
議案第1号 平成23年度教科用図書採択について
(学校教育課長) 平成23年度は、平成24年度から使用する中学校用教科用図書の
採択と、平成24年度使用小学校及び中学校特別支援教育用教科用図書の採択となる。
本件の採択に当たり、5月定例教育委員会で、採択要領、調査研究委員会要綱及び
採択に係る文書の公表の方法等について決めていただいた。
それに従い、7月11日に調査研究委員の委嘱を行い、各種目の調査研究を開始し
た。8月10日には各種目の小委員会委員長から教育委員会の皆様へ調査研究結果の
報告があった。
調査研究項目としては、①取扱い内容、②内容の構成・配列・分量等、③使用上の
配慮等、④その他、以上の4点の観点から取りまとめて、その際の報告書については
採択参考資料として提出されているので、詳細についての説明は省略する。
また、その報告書を基に、教育委員会の皆様には7月19日、22日に勉強会を開
いていただき、学習意欲を引き出すことができるか、学力向上が期待できる内容か、
発展的学習や応用力の向上が工夫されているか、北国の地域性や特色を生かした教材
が見られるか、使いやすさがあるかなどを各教科用図書について考査していただいた。
本日は、まず1頁「平成24年度から使用する中学校用教科用図書採択に係る教科
書一覧」から、各種目1社ずつ採択していただくよう審議をお願いする。

<p>さらに、平成24年度に使用する小学校及び中学校特別支援教育用教科用図書については、小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒で当該学年用の文部科学省検定済教科書の使用が適当でない場合に使用できるようにする教科書になることから、①文部科学省検定済教科用図書の下学年用、②文部科学省著作教科用図書、③一般図書、の全てを採択するようお願いする。</p>
<p>なお、教科書展示会を6月17日から7月6日まで教育センター4階の教科書センター及び中央図書館で開催したが、期間中、両展示先で意見が合わせて10件だった。</p>
<p>また、採択参考資料として、先程説明した「平成24年度から使用する中学校教科用図書の調査研究結果報告書」と「平成24年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料」については事前に提出している。</p>
<p>(上原委員長) ただ今担当課長から説明があったが、先日教科用図書の勉強会を、委員の皆様にご集まっていただき行ったが、その時のことを教育長からまとめて話していただき、皆様の意見をいただこうと思う。</p>
<p>(山田教育長) 来年度から採用する本市の中学校用教科用図書、いわゆる教科書については、学校関係者とPTA代表者で構成されている調査研究委員会を7月11日から開催し、以来3回にわたって調査研究を経て、8月10日に教科ごとの委員長から調査研究の結果について報告を受けた。</p>
<p>8月19日、22日に教育委員会による勉強会を実施した。報告された内容を基に、教科書の記述と照らし合わせて内容の確認を行った。特に今回の学習指導要領では、確かな学力の向上が強くうたわれていることから、基礎・基本の定着と発展的・応用的な内容の採上げ方、興味や関心が高まって学習意欲を喚起する工夫がされているか、見通しを持って学ぶことができるような構成になっているか、などに注目・着目して検討してきた。何よりも実際に使用する生徒が知りたい、学びたいと感じていること、指導に当たる教師にとって学ばせたい、学びを支援したいとそういう気持ちになるような相互作用が働く、そして、新鮮な感覚で学習意欲が継続できるような教科書を採択してあげたいものだという視点で各委員が意見を交換してきた。</p>

この結果、全ての教科の採択を絞り込むことができたので、これから上原委員長に
発表をお願いし、その採択理由を教科ごとに私から追加説明をさせていただく。そして、各委員に最終決定の同意をお願いしたい。
(上原委員長) できれば皆さんの総意で、この教科書採択をしていきたいと思うが、よろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(上原委員長) それでは平成24年度から使用する中学校用教科用図書について、種目ごとに私の方から発行者と書名を発表し、主な採択理由については山田教育長から発表してもらおう。
まず、国語については、発行者「光村図書出版(株)」、書名「国語」である。
(山田教育長) 学習の見通しを持たせる工夫や、学習する内容やポイントを分かりやすく示すことにより、生徒が主体的に学習に取り組めるようになっているとともに、プレゼンテーションの活動や読書教材などにより、生徒の学習意欲を高めるよう配慮されている。
また、文法教材が見やすく、練習問題も充実しており、学習内容の確実な定着を図ることが可能な内容となっている。
(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。
(一同「なし」の声)
(上原委員長) 勉強会の中でもいろいろな御意見をいただいたので、その分が今回の理由にもなっている。
それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
(上原委員長) 次に書写については、発行者「教育出版(株)」、書名「中学書写」である。
(山田教育長) 書写のねらいを実現できるよう学習内容が工夫されているとともに、

<p>目標の設定から自己評価までの学習過程が明確に示されている。</p>
<p>また、朱墨による筆遣いの細かな説明や補充教材集の活用などにより、学習の定着・発展を図ることが可能な内容となっている。</p>
<p>(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>—原案どおり承認—</p>
<p>(上原委員長) 地理については、発行者「教育出版(株)」、書名「中学社会 地理 地域にまなぶ」である。</p>
<p>(山田教育長) アイヌの人たちの歴史や文化、道内の市町村などの北海道に関する地域事例を多く取り扱っていることによつて、生徒の学習意欲を高めることが可能な内容となっている。</p>
<p>また、「読み解こう」のコーナー、「地域調査の手引」などにより、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p>
<p>(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>—原案どおり承認—</p>
<p>(上原委員長) 地図については、発行者「(株)帝国書院」、書名「中学校社会科地図」である。</p>
<p>(山田教育長) 北海道の北部と南部の地域別詳細図を掲載するなど、地域学習を進める上で生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p>

<p>また、地図を活用して調べる方法や地域の地理的事象を読み取る着眼点を示し、生徒が主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</p>
<p>(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>－原案どおり承認－</p>
<p>(上原委員長) 歴史については、発行者「教育出版(株)」、書名「中学社会 歴史 未来をひらく」である。</p>
<p>(山田教育長) オホーツク文化、北海道の開拓の様子、アイヌの人たちの文化を採り上げることにより、北海道の歴史について興味・関心を高めるよう工夫されている。</p>
<p>また、「トライ！」や「読み解こう」などのコーナーにより、生徒が主体的に学習に取り組める工夫がなされており、個に応じた指導の充実を図ることが可能な内容となっている。</p>
<p>(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>－原案どおり承認－</p>
<p>(上原委員長) 公民については、発行者「東京書籍(株)」、書名「新しい社会 公民」である。</p>
<p>(山田教育長) 「市長になって考えてみよう」や北海道の事例である「栗山町の議会制度改革」を採り上げ、生徒の学習意欲や地域社会に対する関心が高まるよう工夫されている。</p>

<p>また、「公民にアクセス」のコーナーや「トライ！」による課題の掲示で、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p>
<p>(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>－原案どおり承認－</p>
<p>(上原委員長) 数学については、発行者「(株)新興出版社啓林館」、書名「未来へひろがる数学」である。</p>
<p>(山田教育長) 問題ごとに関係するページが明記されるなど、生徒が自ら学習内容を確認し、定着を図ることができるよう工夫されている。</p>
<p>また、「繰り返し練習」や「数学の広場」を特別編として、補充や発展的内容を充実させるなど、個に応じた指導や応用力の向上へ向けた工夫が図られている。</p>
<p>(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>－原案どおり承認－</p>
<p>(上原委員長) 理科については、発行者「東京書籍(株)」、書名「新しい科学」である。</p>
<p>(山田教育長) 防災について有珠山の噴火を掲載したり、コラム「科学のとびら」で科学の有用性に気付かせたりするなど、生徒の関心や学習意欲を高めるよう工夫されている。</p>
<p>また、学習内容のまとめりごとに繰り返し復習できる確認問題を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組み、定着を図ることが可能な内容となっている。</p>

(上原委員長)	この件について御質問・御意見があればお受けしたい。
	(一同「なし」の声)
(上原委員長)	それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。
	(一同「異議なし」の声)
	－原案どおり承認－
(上原委員長)	音楽（一般）については、発行者「㈱教育芸術社」、書名「中学生の音楽」である。
(山田教育長)	北海道のソーラン節等を教材として扱うとともに、苫小牧市出身の伊藤多喜雄を紹介したり、既習事項の確認で「ビンゴゲーム」を配置したりするなど、生徒の興味・関心や学習意欲を高めるよう工夫されている。
	また、学習をサポートする各種コラムを設置するなど、基礎・基本の定着が図られるよう配置されている。
(上原委員長)	この件について御質問・御意見があればお受けしたい。
	(一同「なし」の声)
(上原委員長)	それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。
	(一同「異議なし」の声)
	－原案どおり承認－
(上原委員長)	音楽（器楽合奏）については、発行者「㈱教育芸術社」、書名「中学生の器楽」である。
(山田教育長)	様々な演奏家のメッセージやビートルズの楽曲と関連付けた楽器の紹介など、生徒の興味・関心や学習意欲を高める工夫がなされている。
	また、「アンサンブル・セミナー」を設けるなど、楽器演奏を通して、音楽の仕組みや諸要素を理解することが可能な内容となっている。
(上原委員長)	この件について御質問・御意見があればお受けしたい。

(一同「なし」の声)
(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
－原案どおり承認－
(上原委員長) 美術については、発行者「日本文教出版(株)」、書名「美術」である。
(山田教育長) 生徒のアイデアスケッチを効果的に配置するなどして、生徒の発想・構想を引き出し、理解や作品製作へのプロセスに工夫がなされている。
また、アイヌ文様や北海道に関する作品を紹介して、生徒の興味・関心や学習意欲を高めるよう工夫されている。
(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。
(一同「なし」の声)
(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
－原案どおり承認－
(上原委員長) 保健体育については、発行者「東京書籍(株)」、書名「新しい保健体育」である。
(山田教育長) 章末に確認の問題・活用の問題や学習のまとめを配置するなど、基礎・基本の定着や活用力向上を図ることが可能な内容となっている。
また、学習に関連した多様な資料や読み物が掲載されており、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。
(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。
(一同「なし」の声)
(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)

－原案どおり承認－

(上原委員長) 技術については、発行者「東京書籍㈱」、書名「新しい技術・家庭 技術分野」である。

(山田教育長) 身近な地域の「省エネルギーマップ」づくりなど、知識・技能を活用する具体的な学習活動が示され、学んだことが生活に生かされるよう工夫している。

また、各編において、学習のまとめとして、自己評価や問題を掲載し、知識理解の定着や活用力を高めることが可能な内容となっている。

(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。

(一同「なし」の声)

(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。

(一同「異議なし」の声)

－原案どおり承認－

(上原委員長) 家庭については、発行者「東京書籍㈱」、書名「新しい技術・家庭 家庭分野」である。

(山田教育長) 学習能力についての課題意識や興味・関心を持たせる資料や実習例を豊富に掲載するなどして、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。

また、各編において、学習のまとめとして、自己評価や問題を掲載し、知識理解の定着や活用力を高めることが可能な内容となっている。

(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。

(一同「なし」の声)

(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。

(一同「異議なし」の声)

－原案どおり承認－

(上原委員長) 英語については、発行者「開隆堂出版(株)」、書名「SUNSHINE ENGLISH COURSE」である。
(山田教育長) 小学校の外国語活動と関連を図った学習活動に配慮するとともに、教科書に書き込みながら学ぶ方式を取り入れるなど、学習内容を定着させる工夫がなされている。
また、「聞く」、「話す」などの4技能を総合的に学習できる構成であり、「コミュニケーション能力の基礎」を多面的に育成することが可能な内容となっている。
(上原委員長) この件について御質問・御意見があればお受けしたい。
(一同「なし」の声)
(上原委員長) それでは、質問・意見がないようなので、承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
(上原委員長) 続いて、平成24年度特別支援教育用教科書は、文部科学省検定教科書用図書の下学年用、文部科学省著作図書及び一般図書を採択してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第2号 教育費補正予算について
(学校教育部長) 9月8日開会予定の第3回定例会において、提案を予定している一般会計第5回補正予算案のうち、教育費についての補正があるので、別途資料に基づいて説明させていただく。
今回の教育費は総額で、28,175,000円の増額補正をお願いするものだが、私からは、学校教育部所管の上から3つについて説明させていただく。

<p>まず、教育指導費の北海道道德教育推進事業費 310,000 円だが、これは、道の委託事業であり、実践研修推進校として啓明中学校が指定され、道德教育の実践研究を行ってその成果を普及することにより、道德教育の充実を図るというものである。</p>
<p>続いて、小学校費の学校建設費では、大成小学校校舎耐震改修計画・耐震補強設計費に 6,670,000 円である。これについては、6 月議会の中でも答弁申し上げたが、できるところから順次耐震化を進めていくことから、今回については、工事の進め方についての改修計画及び耐震補強本体の設計委託を行うものである。これを実施することにより、24 年度当初予算で補強の本体工事を進める予定である。</p>
<p>続いて、中学校費の学校建設費では、開成中学校屋内体育館耐震改修計画・耐震補強設計費に 6,680,000 円である。これも大成小学校と同様に、平成 24 年度に補強工事本体を進めたく、その前段で設計委託料を計上したものである。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 私からは、スポーツ生涯学習部担当の補正予算について説明させていただく。</p>
<p>4 段目の文化会館ステージ進行監視カメラシステム整備費 3,000,000 円であるが、開館以来カメラモニター等設置したままだったが、この度、施設としてのシステムに不具合が発生した。現在、新たな指定管理者の選定作業を行っているが、新たな指定管理者も、そちらのシステムを外さないと、きちんとした館の管理ができないということで、補正を要求して認められたものである。カメラやモニター、それらに設置する配線等にかかる費用がその内容である。</p>
<p>続いて、保健体育総務費の小・中・高校生各種体育大会遠征費助成金 6,000,000 円であるが、例年当初予算で定額の 7,500,000 円を予算として使用させていただいているが、例年この時期に予算が不足する現状がある。特に今年は、中学校の全国大会への出場がたくさんあり、予算が不足する分 6,000,000 円を補正させていただいている。ただ、今後冬季間のアイスホッケー等の大会によっては、更なる補正が必要となってくるケースが考えられるが、それらは次回以降の補正をお願いしたいと考えている。</p>
<p>次に、ハイランドスポーツセンター設備整備費 4,725,000 円であるが、先週末に</p>

<p>かけて新聞報道が先行したが、懸案となっていたハイランドスポーツセンターの屋内リンクを廃止するという形で31日に議会説明と記者会見を予定していた。それに先んじて新聞報道が先になったが、その関係で、こちらの冷凍設備の中にアンモニアが入っており、これが危険物ということで、廃止に伴いアンモニアを回収して処分する費用ということで4,725,000円を計上させていただいた。</p>
<p>最後に、白鳥アリーナの設備整備費だが、開館以来取り替えてなかったクーティングマシンが経年劣化により故障が頻発していることから、今回電源立地地域対策交付費、これは北海道の補助だが、そちらの補助を活用できる見込みとなったので、790,000円を補正させていただく内容である。</p>
<p>(上原委員長) 意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(鈴木委員) 屋内リンクが閉鎖することになったが、冷凍機自体が中と外に分かれています。アンモニアを抜いた後に、屋外専用としてその冷凍機を使えないか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 現在のものについては、昭和45年に設置した冷凍機がそのままになっており、配管等も相当老朽化している。屋内リンク専用でもあるので今回はこういう処置を採らせてもらった。屋外の方は数年前の国体の時に整備しているので、まだ設備が新しい。当面の対応は、こちらの方だけで可能である。</p>
<p>(鈴木委員) 屋内が無くなった時点で、その冷凍機も使わないということか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) はい。</p>
<p>(上原委員長) 他に意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(佐藤守委員) 小学校・中学校の補強工事だが、前に順番立てしていた部分があったと思うが、この大成と開成の屋内は、やはり緊急ということで、先に実施する考え方なのか。</p>
<p>(学校教育部長) 今回の大成小と開成中の優先順位については、他に危険度の高いものが何箇所かあるが、それについては、耐震化というよりも改築の方で考えている。今回は、来年度の予算で、主に第24小学校を新築するということから、財源も頭の</p>

<p>中に入れ、IS 値がCではないが、0.3に近い部分を先に今回の補正で行わせてもらうという考えで、この2校について採り上げたものである。他にも要求は出しているが、今後財政当局と財源を見ながら、ということになっている。</p>
<p>(上原委員長) 他に意見や質問があればお受けする。</p>
<p>特にないようなので、原案どおり承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>—原案どおり承認—</p>
<p>議案第3号 教育委員会職員の処分について</p>
<p>(議案第3号は人事案件のため、秘密会とする。)</p>
<p>—原案どおり承認—</p>
<p>5 協 議</p>
<p>第1号 教育委員会関係施設の使用料の減免について</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 1頁、文化施設については、条例上では、使用料を定めているところにただし書があり、「市長が特に必要と定めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。」ということで、規則で更に文言化している。その文言が、中段の「免除内容」に書かれているものになる。更に詳細で定めているのが、遅れてお配りした免除や減免の基準というものがある。なお、青少年ホームについては、無料でスタートしているので、空き時間に一般の方が使用できないかという申し出があり、遅れて勤労青少年以外も利用できるように使用料を設定したことから、減免の基準は特に持っていない。なお、減免の決定権だが、条例では利用料金の定め</p>

<p>項目の中で、「教育委員会が定める基準に基づき、指定管理者が全部又は一部免除する。」ということになっている。なお、あくまで基準については教育委員会が定めるので、指定管理者が独自の判断で減免することはできない。</p>
<p>2・3頁、スポーツ施設についてであるが、スポーツ施設の条例の中で、「市長において特別の理由があるときは、減免できる。」とされ、先程同様、委員会の定める基準に基づき指定管理者が減免している状況にある。先程添付した資料の中に体育施設使用料減免取扱規程があり、それらに基づき、体育施設が一律同様の減免をしているという内容になっている。</p>
<p>(佐藤守委員) 基本的に指定管理者が独自の判断で減免できないということによいか。説明に書いている「減免はしたとしても、補填はしない。」ということによろしいか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 指定管理者が提案いただく時に、それまで過去の減免内容を全部出してデーターを渡し、その上で指定管理者が利用料金をいくら見込むかという形で提案していただいております、当初から補填はしないという形でスタートしている。</p>
<p>(佐藤守委員) 体育施設使用減免取扱規程というのは、施設ごとに指定管理者に渡されていると思うが、実際今までの例として、減免してもらう場合には各館の規則によって、減免の申請を出して教育委員会が承認を受ける流れになっていると思う。今までの例として、3割減のところ「南北海道高校アイスホッケー大会」と書いてあるが、あと小・中学校の大会がそれぞれあると思うが、その場合の取扱いというのは、あくまで主催なのか共催なのかによって、減免が各種大会について決まっているのか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) これは大変分かりづらい減免規程になっているが、実際の減免自体はほとんどケースがなく、先般行なわれた市の主催であるアイスホッケーの選抜や、来年行われるインカレなど、ごく限られた市の主催事業だけであって、3割減免のものはスケート行事に係る大会だが、共催という立場から、この大会だけは3割減免と明言されている。ほとんどのスポーツの大会については、実際は減免はほぼされていない。市が主催するというものは、ほとんどないと言ってよろしいかと思う。よく市長杯とか冠大会が出ているが、あれはスポーツ団体が独自で市長杯という形で</p>

<p>行っているのですが、市の主催ではなく、普通に使用料を払っていただいているのが現状である。</p>
<p>(佐藤守委員) よく全道・全国大会を誘致するという事で市は当然動いていると思うが、その中で誘致する段階で、大会をする場合において使用料の減免は誘致の好材料になる場合もあると思うが、その辺がはっきり決まっていない。今まで減免の申請が出ていないということ自体が不思議に思う。私の関係で言うと、小学校のアイスホッケーの大会だが、小学校のリンクの練習枠というのは、特別枠で4時半から朝の10時までの間は、特別料金ということで3,200円である。通常の場合は13,000円になっていると思うが、小・中学校でもそうだと思うが、大会がある時は土日に行きに行く機会が多く、土日に行くと通常料金でリンク代がかさむ。私が小学校に携わる前は、平日の夕方の減免を受けているリンク帯に試合を行うので長々と試合が続く。親御さんも土日ではなく平日の夕方の4時半以降であるために大変な部分があるので、要望が出ていたのは、土日も、小・中学生のアイスホッケータウンとして苫小牧がこれから目指すのであれば、割り引いた料金で試合ができないだろうかということを検討していただきたい。小学校も中学校も高校も関わるので、なかなかすんなりいかないと思うが、リンク調整委員会が毎年シーズン始めにやって決めているらしいが、ずっと変わらない。中学校も前は朝の練習をしていたが、学校で子どもたちが寝たら困るため、朝の練習帯を使わないでいるのが現状なので、その辺を小・中・高うまい具合にリンク割をし、子どもたちも指導する人たちも指導しやすいような環境を作りたい。今、小・中学校のアイスホッケー人口がどんどん減少し、10年前に比べると200人くらい減っている。今、全国高校アイスホッケー大会が開催されているが、苫小牧出身の子どもたちがあの大会にどんどん出られなくなっていくというような懸念があり、拡大するには、やりやすい環境づくりが1番だと思うので、検討していただきたい。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 全道大会だが、大会参加助成ということで、全道大会レベルで1大会150,000円と、料金の減免はないが、大会補助がある。ただ、こちらも問</p>

<p>題があり、苫小牧市で来年全道大会を開催するのはどういう大会か、というのを競技団体にアンケートし、予算を取っている。実際あったことだが、そのアンケートを出さず、いきなり補助が申し込まれ、当初予算を確保していなかったため、財政と協議している状況である。</p>
<p>小・中学生の使用料減免については、小・中学生の使用料は安く設定されていると思う。当然平日、土日で料金体系が変わってきているのだろうが、そういった割引されているといった兼合いと、土日の大会だと料金が高くなり、親御さんたちの負担が多くなるという状況なので、それについては担当の方と改めて協議させていただく。</p>
<p>(鈴木委員) 以前に、苫小牧のスケート人口の底辺拡大ということに関し、例えばスポーツの種目の中に、小・中・高・一般と一緒にやっているような種目がある。そうで、その中で使用すると、使用料の問題だが、一般が1人でも入っていると、全員が一般料金になるというのが決まっている。これにつき、1人1人で料金を定められないか。小・中学生で一般並みの料金を徴されるのは、とてもじゃないけどやっつけられない。これもやはり底辺拡大の中の1つの要素になっているのではないだろうか。できればこのことも少し検討していただければ、子どもたちも少し助かるのではないかと思う。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 特別に減免する必要というのは、例えば、来年はこれがしたいと申込みや意思表示があった場合だと思うのだが、その時に十分検討するのはどこで、どこが決裁するのか。リンク調整委員会というところで大まかなところを決め、それを教育委員会で正式決定するのか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) リンク調整委員会は、大会委員との調整を行っていて、使用料の減免は別のところが行っている。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 十分検討するのは、教育委員会の中で検討するのか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 施設の中で指定管理者が運営しているものについては指定管理者がそのまま減免し、今までにない事例であれば、教育委員会に問合せが指定管理者からあり、減免の申請ができるかどうかという協議になると思う。</p>

(佐藤郁子委員) これは、1年くらい前からだと対応できるのか。
(スポーツ生涯学習部長) 別にその年でも可能である。
(上原委員長) 他に意見や質問があればお受けする。
(佐藤守委員) 指定管理者の場合に年間予算が決まっているが、それで減免した場合は、指定管理者の年間の運営費に影響は出るのか。
(スポーツ生涯学習部長) 指定管理者としては、減免すれば自分たちの利用料金の収入が減ってくるので、逆にいえば指定管理者が勝手に減免するということはあまり考えられない。
(佐藤郁子委員) 指定管理者はあらかじめ積算しないし、市は減免分を補填しないということか。そうすると指定管理者にとっては不利益になるのではないか。
(スポーツ生涯学習部長) 市の基準に合っているかどうか、市の主催にするのかということにより、指定管理者は判断することになる。
(佐藤守委員) 今まで減免の申請は出たことがないというのは、やはり出ても拒否されるからか。
(スポーツ生涯学習部長) 市が主催する事業は、限られている。ほとんど競技団体が主催するので、減免対象とならない。
(佐藤守委員) ということは出しても拒否されるのか。
(スポーツ生涯学習部長) 減免自体が、アイスホッケー以外ほとんど聞いたことがない。他のスポーツで減免というのは、聞いたことがない。
(鈴木委員) 各スポーツの連盟も様々であり、観客の呼べる連盟と呼べない連盟がある。連盟でお客を呼べるなら、入場料でいろいろできるのかもしれないが、普段でもお客が入らないのに料金を発生させると全く入らないことになる。結局は、参加料だとか、そういうものだけで全部賄わなければならないというスポーツもある。そのあたりも何らかの援助をしていただきたいと思う。
(上原委員長) 他に意見や質問があればお受けする。
(一同「なし」の声)

(上原委員長) 他に協議事項があればお受けする。
(一同「なし」の声)
6 そ の 他
(1) 平成23年度(平成23年度対象)教育委員会点検・評価報告書について
(学校教育部次長) この点検表や報告書については、7月22日の第11回教育委員会にて承認いただいているが、その後、苫小牧市PTA連合会の会長、副会長、苫小牧市文化団体協議会会長、苫小牧市体育指導委員会会長の4名の方から、外部評価として意見・要望をいただいているので報告する。
まずは、教育委員会の活動状況について、議案審議や教育関連行事への出席など密度の濃い活動が評価されている。一方で、教育施設訪問回数が少ないことの指摘や、養護学校設置に向けた要望活動、苫小牧市美術館の早期建設へ向けた活発な活動を期待するとの意見をいただいた。また、委員会で承認されたが、市議会で否決された議案については、再度委員会にて総括するとよいのではないかとの助言もあった。
主要施設等の点検・評価については、全体として、評価項目は分かりやすく、取組内容も詳細に採り上げられ、細やかな点検姿勢が感じられる、こういった評価がある。一方で、評価基準については、担当課によって評価にブレがあり、分かりづらいところもあるので、「個別事業の成功・成果」と「継続の必要性」が区別できるような評価方法にするとよいのではないかとの助言をいただいた。
学校教育の充実に関することの評価については、「教職員の資質向上」の柱として5つの研究委員会が設置されたことに対して評価をいただいたが、「食に関する指導の充実」については、市内全校の普及という点で今後課題も残っているのではないかと、また、ALTの派遣や施設の改修等、学校によって格差が出ないように一層の取組を

<p>お願いしたいとの意見をいただいた。</p>
<p>社会教育の充実に関することの評価については、全体的に文化・スポーツの取組はよくされている、中でも静川遺跡への取付け道路補修等の文化財の整備が進んだことや市民文化公園芸術祭が初めて開催されたことは、文化振興に新たな可能性を開いたとの評価をいただいている。一方で、指定管理者の施設が増えているが、安全面やサービス面の低下の懸念や一部事業の抜本的な対策、今の話にもあったが、スケート人口の底上げ対策についての意見・要望があった。</p>
<p>ただ今御報告した学識経験者からの意見や指摘等については、今後の教育委員会での事業を行う上で参考にしながら改善等を図っていきたいと考えている。</p>
<p>なお、いただいた意見と助言は点検・評価報告書の24・25頁に掲載し、9月8日から開催される第3回市議会定例会の文教経済委員会において報告する予定である。</p>
<p>(上原委員長) 何か意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>7 委員会閉会の宣言… (16:30)</p>